

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

私たちは、お客様や地域の皆様とともに、お客様の資産や事業、地域の産業や自然・文化を育て、守り、引き継ぐことで、地域の未来を創造していく為に存在しています。そしてお客様、地域、社員とともに、より良い未来を創造する『地域価値共創グループ』を目指す姿としております。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☑ 環境 □ 社会 □ 経済	・紙資源の削減等CO2削減の取り組み	・CO2排出量・削減率 2023年度:2019年度比▲15% 2026年度:2019年度比▲20% ・脱炭素アドバイザーベーシック認定者数 2023年度:1,624人 →2026年度:2,100人
□ 環境 ☑ 社会 □ 経済	・ダイバーシティ/インクルージョンへの取り組み強化	・男女育児休暇取得率 2023年度100%→2026年度100%を維持 ・女性管理職比率 2023年度12.8%→2026年度15%
□ 環境 □ 社会 ☑ 経済	・ESG・SDGs関連の投融资や商品の推進	・ESG投融资累計額 2021～2023年度:4,462億円 →2024～2026年度:4,038億円 ・SDGs・脱炭素化支援件数累計 2024～2026年度:2,250件

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。**(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

【環境】 ・「Partnership for Carbon Accounting Financials(PCAF)」への加盟 ・「自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)フォーラム」への参画 ・経済産業省が公表した「GX」リーグへ参画 ・九州電力株式会社熊本支店と肥後銀行、九州電力株式会社鹿児島支店と鹿児島銀行との「脱炭素社会の実現に向けた連携協定」締結 ・鹿児島銀行とさつま町、九州電力鹿児島支店による「さつま町のカーボンニュートラルの実現に向けた連携協定」締結 ・鹿児島銀行、鹿児島県、味の素、県下の畜産関係団体・事業者、鹿児島大学などとの間で「鹿児島県畜産業におけるGX推進及び産業振興に向けた連携協定」締結 【社会】 ・熊本市との災害時における帰宅困難者の受入れ等に関する協定の締結 ・「人的資本経営コンソーシアム」への参画 【経済】 ・玉山商業銀行股份有限公司(台湾)との業務提携に関する覚書の締結 そのほか、TCFDやPRBへ賛同し、情報開示やポジティブインパクトの拡大等を行っている。
--

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 環境 □ 社会 □ 経済	・紙資源の削減等CO2削減の取り組み	・CO2排出量・削減率 2023:2019年度比▲10%
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	・再エネ事業会社KSエナジーの設立 ・CO2排出量算定システム炭削くんの開発 ・Scope3カテゴリー15のCO2排出量の算定・開示 ・2030年度カーボンニュートラル達成に向けた移行計画策定 ・WEB通帳の促進・タブレット利用の促進 ・社内CO2排出量削減運動の徹底	・CO2排出量・削減率 2023:2019年度比▲15.0%
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
□ 環境 ☑ 社会 □ 経済	・ワークライフバランスへの取り組み強化	・男女育児休暇取得率 2023:100%を維持 ・テレワーク、フレックス勤務、インターバル勤務 2023:継続実施 ・副業制度の活用 2023:活用人数増加
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	・男性育児100%宣言認定(肥後銀行、鹿児島銀行) ・健康経営優良法人へ認定(肥後銀行、鹿児島銀行) ・健康経営優良法人ホワイト500に6年連続認定(肥後銀行) ・プラチナくるみん認定(肥後銀行、鹿児島銀行) ・2022年度より週に2回、事業所内等の照明を定時終業時刻に消灯する「ライトダウン運動」を実施 ・従業員一人ひとりが描くキャリアパスや生活事情に応じた働き方などに対応するため、2023年4月に人事制度改定	・男女育児休暇取得率 2023:100% ・テレワーク、フレックス勤務、インターバル勤務 2023:継続実施(2024年度は熊本の地域課題である熊本市都心部の渋滞緩和に向けて活用している) ・副業制度の活用 2021年度:20人 2023年度:38人
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
□ 環境 □ 社会 ☑ 経済	・ESG・SDGs関連の投融资や商品の推進	・ESG投融资累計額 2023:2030年度目標1兆円に向けて積み上げ
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	・2023年度より、肥後銀行にてグリーンローン・ソーシャルローン・トランジションファイナンス、鹿児島銀行にてポジティブ・インパクト・ファイナンスの取り扱いを開始。 ・ESG投融资実行額については、2030年度1兆円に対して2023年度までに4,462億円と堅調に推移している。	ESG投融资実行額(2021年度～2023年度):4,462億円

・「三側面」「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。